

●卵囊発見過去最高を記録 30個を発見 カスミサンショウウオ保全運動で昨年は24個で最高を記録しましたが、今年は12日現在30個が確認されました。観測調査の安全策として巨大ナラ枯れ木の撤去で産卵池の周囲がひどく荒れたので、産卵がされるのかと心配していましたが、昨年を上回る新記録となりました。陽当たりが良くなった関係で変化したのではないかと思います、昨年より3日早くなっていました。これがうまく幼生の誕生にまで大きくなってくれるのを期待しています。

●カスミサンショウウオ保全対策できる 池周囲を電気柵の設置が完成 これで獣の接近を防ぐことが出来ました。8日に太田さん金田さん大村さんの三人が杭を埋め込み電線を三段に張り巡らし、池の電線に触れると強烈なショックが発生することになります。地面との隙間が発生しないように設置することが重要なポイントです。隙間が正確になるように注意して、特に陸地の整備や障害物の取除き等が重要な事前準備作業だとして念を入れて丁寧な作業になりました。設置以後でも夜になるとタヌキが2匹同時に近づいている撮影がされています。このことから随分と獣にとっては住みやすい場所であることが証明されています。

●全国生態学会 発表準備の迫込み 中西康太君が発表するポスターはA3用紙10枚になる大作品です。今必死に最後の仕上げにかかっています。全国各地から発表者が60人もあって、中西君は19番の発表となります。張り出すポスターは午前9時30分に開場されるので発表が始まるまでの11時までに完成させなければなりません。里山の会からは深田三郎さんと金田徹さんが応援のために出席していただくことになっています。ご指導をいただいた桜谷先生も発表時間に間に合うように名古屋から駆けつけていただくことになっています。

●中西君の発表の前々日に桜谷先生来所 最期の迫込みに頑張っている中西康太君の応援に桜谷先生が15日の金曜日に来ていただくことになりました。全体の校正や出来栄えなどについてご指導をいただくことになります。そして康太君の発表についてもご意見をいただければありがたいと思います。中西康太君 がんばってください。里山の会のみんなが応援しています。

●地域力事業報告書のまとめの迫込みへ 事業報告書の書き込みに全力を傾注 年度末となると12月とは違った忙しさが続きます。里山の会は国交省の希少種植生調査管理業務、そして京都府地域力再生プロジェクト事業交付金の事業、京都大学との共同作業の中聖牛設置事業、そのほか夏原グラントの交付金への事業報告、加えてやましろ里山の会の年度総会の各種資料作成、会誌46号の会誌作成の取組が重複しています。いずれも重要な報告書や議案作成になります。次年度の助成金獲得のためにもおろそかにできないものばかりです。

●村上さん イラスト作成に実力を発揮 先週の事務局会議に出席いただいて、次年度から会計の窓口で現金支払いを担当していただくことになっている村上さんは、もう一つの特技がイラストのデザイン作成です。今年度末になって、その力がいかんなく発揮されています。次年度の事業推進のためにチラシ作成に取り組んでいただいています。これまでは慣れないものが素人の作品とわかるものでしたが、今回はこれまでとは一味も二味も違ったものに仕上がっています。ご苦労をおかけしています。

●年度活動報告書作成に集中 主要項目抽出 13日の事務局会議で2018年度の活動報告の項目と、それを基にした本文案について議論をお願いしました。その大筋の項目をご紹介します。皆様でこう言った点について明記しておくべきではないかとお気づきでしたら、ぜひご連絡をお願いい

たします。理事会は3月28日、総会は4月28日に予定をしておりますので、直前までのご連絡をお待ちしています。一言ご意見をお届けください。①3年連続の県外研修会実施(愛知 和歌山 兵庫) ②中聖牛の設置 ③ハンマーモア購入63万 修理16万 2台 保有 ④事務局会議へ出席者増(大釜村上) ⑤新レンジャー2名増加(大釜村上) ⑥里山農園の充実と津川さんの入院 ⑦次年度会員数の把握と会費納入月間の取組み ⑧白土山洞穴ルート実現で農園活動の前進 ⑨日本生態学会への発表参加 ⑩木津川での活動でトイレの仮設実現 ⑪生き物班の活動充実(普賢寺地区の生息動物の撮影成功 ⑫タヌキ キツネ アライグマ ノウサギ) ⑬河川協力団体の倉庫実現(ハンマーモア2台、竹割機 除草作業備品の収納所) ⑭会計担当者の凶充実(記帳白木中川 入金扱い森 現金扱い村上 総括管理深田) ⑮労務への礼金支払いが実現 竹蛇籠製作協力者 木津川植生調査管理業務提供者 ⑯京都木津川マラソン 出場選手輸送で自主的な協力の項目です

●会計深田さんは決算処理に神経使って奮闘 年度末で最も気を使って事務処理を遂行するのが、どこの団体でも会計担当者です。やましろ里山の会は、特に今年からお礼金の支払いを行ったので、随分と処理が複雑になっています。例年とは打って変わって複雑になっています。助成金事業。交付金事業。業務事業と性格の違った事業を本格的に取り組んだので、想像を超える複雑になっています。深田さんには本当にご無理をお願いしています。全役員中では最高齢者でもありますのに、本当に頑張っていていただいております。体に無理をしないで無事にこの難局を乗り越えられるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

●2019年度活動日程案各部署から提案相次ぐ 次年度の活動日程の作成に提案をして、各部署の皆様の抱負などを表す事業計画について前年度事業を基にした第1次案を提案しています。それをもとにして、各位のご意見を加えて、さらに充実したイベントの盛り上げるために、修正点検をお願いしました。そして新しい魅力ある行事の提案もお願いしています。10年一日のごとく何時までも同じ内容のイベントを繰り返しては魅力が失われるし、新鮮さも失われます。ここに停滞が生じてしまいます。新しい峰に到達するには新しい勇気が必要です。大いに改善提案を届けていただきますようお願いいたします。

●2019年度木津川希少種植生調査管理業務の公示が始まり受注申請文書を提出 深田さんが枚方市の淀川河川事務所経理課に11日提出いただきました。この取り組みは消費税込みで200万円になる大事業です。八幡の三川合流から木津川市加茂町の小谷地区までの全長25kmに及ぶ範囲で36ヵ所の希少種の生育地調査と面積15000㎡の除草作業を少なくとも年間2回以上は実施するものです。希少植物の維持保全のために行う作業なのです。里山の会は永年調査してきた希少種の保全のための取組です。除草作業は10日間の予定です。刈草の運び出しは10日間の作業だと思われます。積極的にご協力いただければありがたいことです。

●桜の昼食花見会 4月4日(木) 正午から 京田辺市花見公園 14時までの予定です。雨天でも決行の予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています弁当代700円

●第12回親子花見乗船体験 今年31日(日)に開催 参加費無料 当日現地受付となりますので、先着順で希望者多数の場合は待ち時間が長くなります。ご了解ください。

●3月植物観察会 3月22日(金) 午前9時半 八幡桜堤駐車場 集合  
(詳しいことはホームページ トップページをご覧ください)